

レジメン登録フォーマット

申請年月日	令和3年9月21日	使用開始日	
登録診療科	消化器内科・外科	申請医師	福永 睦
レジメン名	アービタックス【2回目以降】+エンコラフェニブ・ビニメチニブ		
疾患名	大腸がん	適応の備考	BRAF遺伝子変異を有する治癒切除不能な進行・再発の結腸・直腸癌 ※アービタックス+エンコラフェニブ(ピラフトビ)の2剤併用の場合もこのレジメンを使用する。 アービタックス2コース目以後の計画登録には、これを用いる。 アービタックス初回使用の患者の登録には、アービタックス【初回】を用いる。
適応分類	進行再発		
1コース日数	7 日間	総コース数	コース催吐性リスク最小度
抗がん剤投与量・投与日 アービタックス250mg/m ² day1、ピラフトビ300mg/日 day1-7、メクトビ90mg/日 day1-7			

治療スケジュール・投与日程（投与日は●）					(day)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
投与順	ルート・方法	薬 剤 名	投 与 量		投与時間	1	2	3	4	5	6	7																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													

※並行して投与する場合は、コメントを入力する。（例：Rp2とRp3を同時に投与開始する。）

【投与上の注意】

アービタックス：希釈は生食のみ。

アービタックス：前投薬として、アービタックス投与前に、ポラミン注及びデキサート注が必要。

アービタックス：投与終了後は、infusion reactionを観察するため、1時間の観察時間が必要であり、単独投与の場合は初回アービタックス投与後生食100mLを1時間かけて滴下する。

アービタックス：投与終了後は、本剤と同じ速度でラインを生食でフラッシュすること。

アービタックス：初回投与時は、400mg/m²を2時間かけて投与、2回目以降は250mg/m²を1時間かけて投与すること。

アービタックス2コース目以後の計画登録には、これを用いる。

アービタックス初回使用の患者の登録には、アービタックス【初回】を用いる。

メクトビ：メクトビ(ビニメチニブ)を併用する場合には、関連学会の最新のガイドライン等を踏まえ、併用する理由を診療報酬明細書の摘要欄に記載すること。

その場合は、併用が必要とした判断に用いた情報(ECOG PS、転移臓器数、CRP 値等)を具体的に記載すること。